

アトムが 与えた？ 不意の事故

手塚プロダクション社長

まつたにたかゆき
松谷孝征

バチが当たった、そう思うのは心のどこかに疾しいところがあるからなのに、咄嗟にそう思うということはない、やはり疾しいところがあるからなのか。なにはともあれ、とても深刻な事態が発生したのだ。

先日タクシーに乗ったところ、運転手さんが話しかけてきた。

「夕方から雨の予報でしたが、降りませんね。もうすぐ梅雨明けですか、時のたつのが、早いですね」

私も同じ感慨をもっていたので、「そうですね、つい先日まで寒くて、桜が咲き、緑一色になって、一年なんてあっという間ですね」

などと私と同輩ということもあり、他愛なく話しているうち、右折するところを直進してしまった。

なぜこんなに慌ただしく生活をし

ているのだから、ひよっとして大方の人がそうすることが好きなのかも、などと思ってしまう。嫌なら逃げ出す道もなくもないのだから。これは冗談にしても、ここから離れるのが不安なのでしょう、私も含めて。

そんな中で、私はある講座を受けることにした。「レクリエーション指導員養成講座」。病人や老人に対する医療、福祉に携わる人が大半、

あとは教育関係や文化イベントへのボランティアを目指す人が受講生だ。

第一回目はレクリエーションの歴史や理論、実践の講義だったが、大いに勉強になった。得てしてボランティアをする人間が落ち入りやすいのは、自分が満足してしまうケースだという。二回目も教室での講義。

そして先日、運命の第三回目の講座、ゲームの実技が行われた。大縄跳びをしている時、縄の中に入ろうとかけ出した瞬間、左足首にドンと木刀



でたたかれたような衝撃を受けた。

私は、縄の中へ入った途端、転がり倒れた。だれかがいたずらしたのかと後ろを振り返ったが、誰もいない。左足アキレス腱にぶい痛み、やつてしまった。アキレス腱断裂。

来年選歴を迎えるというのに、若い人たちと張り合うバカがいるのか？会社の連中や家族の台詞が手にとるようになる。

「一緒に講座を受けている仲間の邪魔にならないか、今週の仕事はどうしよう」頭の中は妙に冷静だ。

救急車に乗せられ、ようやく怪我が心配になってきた。手術即入院。全治四カ月。

子どもの頃盲腸で入院したことがあったが、それ以来初めての入院だ。久しく新聞のテレビ欄すら見たこと

もなかった私が、昼間からしっかりとテレビをみるようになった。脳梗塞の特集が放送された。みな前兆があるらしいのだが、驚いた。チェック

五項目、全て自分に当てはまるのだ。

実は、自社のことで恐縮だが、二〇〇三年四月七日が「鉄腕アトム」の誕生日だったということもあり、当社は全国でさまざまなイベントを開催した。新たにテレビシリーズもスタートさせた。そんなこんなで、

私は今年に入ってから土日もなく飛びまわり、夜のつき合いも毎晩続いた。身心ともかなりストレスがたまっていた。

そう、この事故をむしろ幸いと思わなければいけない。脳梗塞や脳の血管が切れることを思えば、アキレス腱が切れたほうがどれほどよいか。文頭にバチが当たったと記したが、これはもしかして、罰どころか天が

私に恵みを与えてくれたのだ。そうにちがいない、私にはなんら後ろめたい所などない、断じてない！

人生これ「寒翁が馬」と考えよう、忙しくて忘れていたことを、ゆっくりに思い出し感じよう。ゆったりとした時間の流れの中で。でもやっぱり仕事が気になる。情けないねえ。

(67年法学部卒。85年から現職)

アトム年と 手塚治虫先生の 思い出

小学館クリエイティブ代表取締役・
評論家

うえのあきお
上野明雄

史上最高の観客動員記録を作った宮崎駿の劇場用アニメ「千と千尋の神隠し」が、昨年のベルリン映画祭グランプリ（金熊賞）に続き、今年度のアカデミー賞を獲得した。山村浩二のアニメ作品「頭山」が、フランスのアヌシー国際アニメーション映画祭で、クリスタル賞を得た。ゲームボーイのソフトから誕生したポケモンが、テレビアニメや映画になってアメリカを始め世界各国で大旋風を巻き起こしたのも記憶に新しい。少年週刊誌の「少年ジャンプ」が、昨年十一月に誌名もそのまま「SHONEN JUMP」としてアメリカで創刊され、好調に推移しているともいう。いまや日本のアニメやマンガやゲームなどのサブカルチャーが、世界中で大人気になっている。

二〇〇三年四月七日が「鉄腕アトム」の設定上の誕生日なので、今年はまだアトム年とされ、アトム関連イベントが賑やかだった。四月からは新作アニメのテレビ放映が始まり、ハリウッドでもCGを駆使した映画企画が本格化しているという。大学卒業後出版社に就職し、最初に配属された学年別学習雑誌で手塚先生の担当になった。以来、亡くなられるまでの二十年以上に亘っておつき合っていたいてきただけに、昨今の世界的な日本のサブカルブームに先駆的な役割を果たした手塚治虫先生の存在がますます大きく見えてくる。



初めてスタジオに伺ったときのことだ。わざわざベレー帽を取りに部屋に戻り、「手塚治虫です」と名刺を差し出ししながら、「私の担当をした編集者は、みんな編集長になっていきますから、がんばってください」とおっしゃった言葉を、つい昨日のことのように思い出す。

担当編集者にとっては、なにかとエピソードの多い先生でもあった。確か六〇年代末頃のことだ。新宿の紀伊国屋ホールで記者会見があるといたので、お供することになった。記者会見というのは、大部分は原稿待ちの編集者の目をかすめて仕事場を抜け出す口実で、行ってみると映画の試写会だったこともある。先生ご指名の編集者だけが特権的にお供するので、もちろん他言無用だ。

その日は安部公房の新作「棒になった男」の公演だった。招待状を忘れた先生が開演間際の受付で「手塚ですが」と名乗るが、受付嬢たちは「どちらの手塚さんですか？」とまったく取り合ってくれない。イライラした先生が汗だくになって「安部くんは？」と聞くと、相手はますます不信感をあらわにするだけ。いまや世界の手塚治虫も、その頃はまだそんな状態だったのだから隔世の感がある。「安部先生のお友だちの、マンガ家の手塚治虫先生ですが、招待状を忘れたので」と説明して、やっと中に入れてもらった。その安部公房先生も手塚先生も、いまはもういない。

今年の春から、ある大学院で「サブカルチャー研究の方法と課題」というテーマで講義を始めた。手塚先生が戦時中に描かれた「幽霊男」や「勝利の日まで」から、「新宝島」や「ロストワールド」などの初期作品を再読したり、初の国産テレビアニメとなった虫プロ制作の「鉄腕アトム」を見直しながら、以前には気がつかなかった斬新な手法や卓越した想像力に改めて感服している。日本のマンガやアニメが世界を席巻するまでになった土台は、文字通り不眠不休でパワフルに活躍された手塚先生の偉大なる功績によって構築されたのだと、今更ながら思い知らされる。

（67年経済学部卒。野上暁の筆名で『子ども』というリアル、近刊『ファンタジービジネスのしかけかた』あのハリ・ポッターがなぜ売れた？』などの著作がある）

新人女子アナ 奮闘中

読売テレビアナウンサー

小林 杏奈
こばやしあんな

アナウンサーって、どんな仕事を
してるだろう？ 今日は、ブ라운
管に映らない向こう側を、ほんのす
こし――。

出社は10時。

発声練習から、私の朝は始まりま
す。「あーえーいーうーえーおーあー
おー」。アナウンサーになって、発
声練習をしながら、23年間、自分
何をして生きてきたんだろうと、愕
然とします。こんなにも、言葉を発
声することが難しいとは……。

例えば、「本がある」という文章。
小学校1年生の時、国語の時間に習
いましたよね。先生の後に続いて、
小学生が大きな声で読む。まさかあ
れを、もう一度、やるとは……。普
通に話していると、気にならないこ
の言葉。しかし、人に聞いてもらう
ためには、一音一音を大事に発声し
なければいけません。「本がある」

をローマ字に直すと――『honn
g a a r u』となります。この「が」
と「あ」がくせ者なのです。「あ」
をしつかり発音しないと、「が」に
のみこまれちゃうのです。つまり、
「本が（あ）る」という状況になっ
てしまうのです。

退社は、19時。というのは、先輩
がニュースを読むのを聞くことも、
また勉強になるん
です。もちろん、
話すことも上手に
ならなくてははいけ
ないので、聞
くことも上手にな
りなさい、と先輩
に言われます。他



の人の声を、自分の声を、正確に聞
くことができはじめて、正確な発
音ができるということなんです。

という細かい作業を、毎日毎日、
やっていくわけです。不覚にも、こ
こまで難しいとは思っていませんで
した。

研修が始まって、数カ月。「人に
伝える」表面を見始めています。で
も、自分が画面に映るのも、自分が
雑誌などで紹介されるのも、まだま

だ慣れません。うわつと、思わず、
目を背けてしまおうぐらいです。覚え
ることも、山ほどあるんですね。東
京で生まれ育った私にとつて、関西
の地名や文化は、知らないものばか
り。ニュースの練習でも、知らない
地名ばかりで、周りの人に助けを求
める始末。

7月には、あの祇園祭、天神祭り
の中継を見に行
きました。

8月には、とう
とう『初なき』と
いわれるニュー
スデビュー。緊
張の連続でした。
ニュースが読め

てはじめてアナウンサーになれたと
言えるのです。大阪では、スポーツ
も盛ん。ご存じのように、今年も阪
神タイガースが燃えに燃えています。
もし、優勝ということになれば、特
番などで、徹夜で仕事をするのは覚
悟してろよ、というゲキも現実に。

そして、何より、今年も『デジタル
元年』なので、テレビのデジタル化
に向け、テレビ局の一員として、緊
張が高まる日々です。

私が、就職活動中から、気をつけ
ている三原則があります。

自分らしく、謙虚に、楽しむ。

人とおなじことはしたくない、そ
んな理由で、アナウンサーになろう
と思いました。そのうえで、とにか
く謙虚に、いろいろな人の意見を、
アドバイスを聞こうと思いました。

そして、なにより、自分が楽しくな
ければ、他の人も楽しくない、だか
ら、めいっぱい楽しもうと。自分
の与えられた環境で、どれだけ、輝
けるか――。

もちろん、仕事をしていて、泣き
たくなることも、自分の仕事のでき
なさに情けなくなることもあります。
でも、なぜアナウンサーになろうと
思ったか。それは、等身大の自分ら
しきで、事実を伝えていきたいかっ
たからです。それと、もうひとつ。私が
頑張っている姿を見ると、負けていら
れない、そういう気持ちになるとよ
く言われます。その元気を、一人で
も多くの人に、感じてほしい。もちろ
ん私も、周りの人から元気を吸い取り
ますけどね（笑）。初心の気持ちを
忘れないで、これからも、突っ走って
いきたいです。

(03年法学部卒)

3分間でベストセラーの方法教えます!

エッセイスト

井狩春男 いかりはるお

OB諸兄で、本を書いてベストセラーにしたい! などと思つてらっしゃる方はおられないだろうか。

ベストセラーは、カンタンです。小生の言うとおりに実行できればの話ですが……。

3分間でご教授いたしますから、深く理解してください。

●テーマ

このテーマなら、なん十万人もの読者がいると思えるものでなければなりません。

一般的には、ベストセラーというのは10万部以上売れることをいいます。人によっては、学術論文などをベストセラーにしたいなどと望む人がいますが過去に、浅田彰の『構造と力』のような本が、間違つて売れ

てしまったことがあるものの、フツは1000部も売れば御の字の世界であります。

少なくとも、初版6000部以上刷れるような、確かに読者がいると思えるテーマでなければなりません。

●演出のしかた

1. タイトル

本は、タイトルで売れます。タイトルだけ見て、読みたくなる、買いたくなるものでなければなりません。

本を出したいと思われる諸先輩方のほとんどは、著者としては無名ですから、店頭で、著者名を見て買っていたことなどあり得ません。



本は、読まないで買います。買ってから読むわけですから、内容の良し悪しは、店頭ではわかりません。そう、読者は、内容がわからないで買うのです。こんな経験ありませんか? 書店で、よさそうなので買っただけ

ど、読んだらつまらなかつた。買わなきゃよかった……と。

そんな風に、内容が不明のまま買ってしまうのです。変ないい方をしますと、内容が良くななくても、本はベストセラーになるのです。

ちょっと遠まわりになってしまいました。内容がオモシロそう、良さそうなどと思わせなければならぬのですから、さうなると、まずタイトル

の良さが重要なカギになります。

2. 帯文

前述のように、本は読まないで

買うわけですから、中味の良さをどこかでアピールしなければならぬわけで、そうなると、タイトルの次は帯のコピーが重要になります。これは、編集者が考えたりしてくれることが多いですが、著者として案を出すのもいいでしょう。内容を書こうとする人が多いですが、そうでなくて、読みたくなるコピーを考えて

3. 目次

目次が、どれも読みたくなるものでなければなりません。読者は、読まないで買うのですから、判断材料として、目次が、重要になります。

小説の目次ほど、つまらないものはありません。無名の著者の小説の売れない理由がおわかりになると思いますが。

4. イラストや写真

文章もそうですが、わかりやすく、オモシロくなければなりません。そのためイラストや写真(カラーがあたりまえ)を使うことは必要です。

●売り方

本は、情報でベストセラーになります。イイ本を書いたら、出ていることや、良さを読者に伝えなければなりません。知らなければ、読者は買えません。

たいがいの本は、情報不足でベストセラーにならないのです。(67年第二文学部中退。著書に『本の虫』この本は100万部売れる『など])